

## Diploma Policy

### ディプロマ・ポリシー

#### (卒業認定・専門士授与に関する方針)

本校では以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生は、卒業が認定されます。

#### 卒業の認定に関する前提について

前提として、「いかなる知識・技術も、それを活用する人間によって有意か否かが決まる」。社会人前の最終学歴と位置づけ「育成段階」での最終フェーズに入り、その教育目標の象徴を「自立」とし、以下にあげる「精神的自立」、「経済的自立」、「社会的自立」を身につける。

#### ● 精神的自立

1. 育て守られる立場から卒業し、自らの、また自らに関連する事柄に関して正確に理解・判断し行動するための知識や問題解決能力を身につけている。
2. 自分の可能性に希望を持つことができ、自身の役割を認識し主体的に問題を解決することができる。
3. 自身の力の及ばない事例にあっても、一人で抱えることなく他者の協力を得るなどして、解決へ導くことができる。

#### ● 経済的自立

1. 社会人として自身を活かす職業に出会い、プロとしての誇りを持って職場に貢献できる。
2. 社会人としてスムーズなスタートを切るためにも、即戦力となれるよう専門教育や現場実習等の実務教育による実践力を身につけている。
3. 安定を社会や職場に求めるのではなく、自分自身の強みを活かし貢献する術を持つことで、安定的な収入を得ることに繋げる。
4. 将来的にもシンギュラリティー（技術的特異点）の観点から、これまでに無い働き方を求められる世代である。  
時代の変化に対応できる柔軟さを持ち合わせる。
5. 「ブランドハップンスタンス理論」に基づくキャリア感覚が不可欠である。目先に捉われることなく長期的な視野を持ち、自身の役割を果たすことが、想定外の新たな道を切り開く。

#### ● 社会的自立

1. 自らを社会の一員として自覚し、その行動が社会との繋がりのなかで、他者を助け双方に利益をもたらすことができる。
2. 社会のルールを守り、世の中から孤立することなく居場所を持つことができ、他者との関わりや繋がりを通して調和を保てる。